2019年4月から2020年3月　名古屋市博物館

名古屋市蓬左（ほうさ）文庫・名古屋市秀吉（ひでよし）清正記念館

# 平成31年度の名古屋市博物館

　展覧会名称や会期等の詳細は今後変更される場合があります。最新情報は博物館公式サイトで。 http://www.museum.city.nagoya.jp/

## 1階展示室　特別展・企画展

#### 4月27日から6月2日まで　企画展　書で集（つど）う　競うたのしみ　江戸時代の寄り合い書き

　複数人で一つの作品を作る「寄り合い書き」をテーマに、画家と公卿（くぎょう）らが協同で計画的に作った画帖（がちょう）や、文人の交流から生み出された書画など、江戸時代の書を中心に紹介します。また、作品作りには欠かせない、書法技術や制作背景にも注目していきます。近年話題の、音楽やダンスの要素が加わった現代の「書道パフォーマンス」の作品も展示します。メンバーの気持ちを一つにして、大きな作品を作りあげる過程も必見です。

#### 6月22日から9月1日まで　特別展　スヌーピーミュージアム展

　作者チャールズ・M・シュルツは、1950年から約50年にわたって新聞連載コミック「ピーナッツ」を描き続けました。そこにはスヌーピーと個性豊かなアメリカの子供たちが登場します。本展は、期間限定で東京・六本木に開設され、作秋に終了した「スヌーピーミュージアム」の全5回の展覧会の魅力を凝縮した、特別な機会です。スヌーピーファンの聖地として知られるアメリカ・サンタローザのシュルツ美術館が所蔵する、貴重な原画作品やスケッチ、ヴィンテージ・グッズなどから、20世紀後半のアメリカ文化にふれてください。

#### 9月9日から9月17日までは館内点検のため休館します。

#### 9月21日から11月4日まで　伊勢湾台風60年事業　特別展　治水・震災・伊勢湾台風

　東日本大震災以降日本列島が「災害時代」を迎える中、昭和34年（1959年）9月26日の伊勢湾台風から今年で60年が経ちます。そこで本展では、江戸時代の治水、安政東海地震や濃尾震災などの大地震、そして伊勢湾台風を中心に濃尾平野の歴史的な災害について、独自調査の成果をふまえ地域史の深みから迫ります。

#### 11月16日から12月28日まで　特別展　発掘された日本列島2019、地域展　尾張の城と城下町　三英傑（さんえいけつ）の城づくり・町づくり

　日本各地では、毎年数千件に及ぶ埋蔵文化財の発掘調査が行われています。本展ではそれら全国で実施されている近年の調査成果から、注目される遺跡の最新情報を選（よ）りすぐって紹介します。また地域展では、尾張地域における中近世城館の発掘成果から、築城やインフラ整備などの「土木事業」に焦点を当てます。信長・秀吉（ひでよし）・家康という「三英傑」（さんえいけつ）ゆかりの城の変遷を通して、戦国時代から江戸時代への流れをダイナミックにたどります。

#### 1月25日から3月29日まで　特別展　やなせたかし生誕100周年記念　やなせたかしとアンパンマン展

　2019年は、アンパンマンの生みの親として著名な、やなせたかし（1919年から2013年）の生誕100周年にあたります。やなせは、漫画家、詩人、絵本作家、イラストレーターなど、多岐にわたって活躍しました。何をするにも人を楽しませることを考えていた、やなせの温かい人柄は、作品にも反映されています。本展では、漫画作品や絵本原画、「詩とメルヘン」の表紙原画、アンパンマンのタブロー画などから、やなせの多彩な世界観を紹介します。

## 2階展示室　常設展「尾張の歴史」

### フリールーム

　常設展示室の中の展示替えコーナーです。長期間展示できない資料や新収蔵資料などを中心に、小規模な企画展示を随時開催しています。

#### 3月27日から5月12日まで　昭和天皇の即位御大典（そくいごたいてん）

　大正15年（1926年）大正天皇が崩御（ほうぎょ）し、皇太子裕仁（ひろひと）親王は直ちに皇位を継いで「昭和」と改元しました。喪が明けた昭和3年（1928年）に挙行された、昭和天皇の即位御大典（そくいごたいてん）や名古屋での祝賀行事などを絵葉書を中心に紹介します。

#### 5月14日から6月23日まで　中近世の石造物

　中世以降、人々は神仏への信仰や墓標として、五輪塔（ごりんとう）や宝篋印塔(ほうきょういんとう)、石仏などさまざまな形の石造物をつくりました。館蔵資料を中心に、石造物がもつ魅力を紹介します。

#### 6月26日から8月25日まで　ゲームセンターの思い出

　スペースインベーダーやパックマンなど、ブームを巻き起こしたゲームセンター。実際にプレイしながら、ゲームセンターの思い出に浸ってください。

　協力：日本ゲーム博物館

#### 8月28日から10月20日まで　源氏絵

　日本美術の中で最も多く描かれてきた源氏絵。屏風や絵巻物に広がる『源氏物語』の世界をお楽しみください。

　（フリールーム・テーマ10共通の展示です。）

#### 10月22日から12月22日まで　大口周魚（おおぐちしゅうぎょ）とその周辺

　大口周魚（おおぐちしゅうぎょ・1864年から1920年）は、名古屋出身の歌人・書家・日本書道史研究者です。上京後も常に中京地区出身の人物らと交友を深めながら活動していた様子を紹介します。

#### 12月25日から3月22日まで　くらしのうつりかわり

　炭火のこたつ、湯たんぽや下駄など、この100年あまりの間に使われた道具を展示して、くらしがうつりかわる様子を紹介します。小学校3年生社会科学習にあわせた展示です。

### テーマ10　近世尾張の文化

　名古屋城下の文化的な繁栄ぶりをしめす絵画や工芸品（こうげいひん）を、定期的に展示替えしています。

#### 3月27日から5月26日まで　舞楽（ぶがく）

　舞楽（ぶがく）は宮廷や社寺の儀式の際に演じられ、尾張でも中世から盛んに行われていました。絵画を中心に、舞楽に関連する資料を紹介します。

#### 5月29日から6月23日まで　西光寺地蔵菩薩立像の納入品

　平成30年、津島氏にある西光寺の地蔵菩薩立像と、像内に納められていた品々が国の重要文化財に指定されました。経典などの納入品を紹介します。

#### 6月26日から7月21日まで　浄土へのあこがれ

　阿弥陀如来（あみだにょらい）の待つ理想郷、極楽浄土への生まれ変わりを願うことは、日本仏教の重要なテーマでした。近年の収集品を中心に、浄土信仰の美術を紹介します。

#### 7月24日から8月25日まで　有松・鳴海絞りアフリカへ行く

　昭和23年有松・鳴海絞りはアフリカのコンゴに絞り製品を輸出していました。当時の様子を知る方からの聞き書きとともに、戦後の絞り産業を支えた一時代を見ていきます。

#### 8月28日から10月20日まで　源氏絵

　日本美術の中で最も多く描かれてきた源氏絵。屏風や絵巻物に広がる『源氏物語』の世界をお楽しみください。

　（フリールーム・テーマ10共通の展示です。）

#### 10月22日から11月24日まで　更紗（さらさ）

　木綿布に草花や動物を染め付けたインド発祥の更紗（さらさ）。さまざまな地域へ渡り、その土地好みの模様へと発展していきました。今も私たちを惹（ひ）きつけるエキゾチックな模様の数々をお楽しみください。

#### 11月27日から12月22日まで　没後200年　余延年（よえんねん）

　余延年（よえんねん・山口九郎左衛門、1746年から1819年）は江戸時代に活躍した大高（緑区）の篆刻家（てんこくか・印を作る人）です。没後200年を記念して、余延年（よえんねん）作成の印章や関連資料を展示します。

#### 12月25日から2月24日まで　秀吉の朝鮮出兵と尾張

　天正20年（1592年）3月、秀吉は肥前国名護屋城（ひぜんのくになごやじょう）に出陣し、文禄（ぶんろく）の役（えき）が始まりました。2度行われた秀吉の朝鮮出兵、その1回目「文禄（ぶんろく）の役（えき）」について尾張の情勢とともに紹介します。

#### 2月26日から3月22日まで　浮世絵にみる有松絞店

　有松絞の店頭風景を描いた浮世絵を新収資料（しんしゅうしりょう）も含めて紹介します。

### テーマ16　まつり

#### 1月23日から4月21日まで　郷土玩具（がんぐ）とまつり　岐阜・三重（みえ）・静岡

　祭りにまつわる郷土玩具（がんぐ）のうち、岐阜・三重・静岡県に関するものを紹介します。

#### 4月24日から6月23日まで　鹿子神車（かしかじんしゃ）山車（だし）模型

　東区新出来（しんでき）の山車（だし）鹿子神車（かしかじんしゃ）は、6月第一土日の出来町天王祭（できまちてんのうさい）に曳（ひ）き出されます。その祭りに携わっていた方が製作した山車（だし）模型を、祭りの様子とともに紹介します。

#### 6月26日から8月25日まで　海と平野の天王（てんのう）祭り

　尾張地方で盛んな天王（てんのう）祭りについて、海（沿岸部）と平野（内陸部）の資料から紹介します。

#### 8月28日から10月20日まで　名古屋のまつりと郷土玩具（がんぐ）

　祭りにちなんだ縁起物、山車（だし）やからくり人形の玩具（がんぐ）など、名古屋の祭りに関する郷土玩具（がんぐ）を紹介します。

#### 10月22日から12月8日まで　南区牛毛（うしけ）神社の祭礼用具

　馬を飾り付ける馬道具、笠鉾車の部材など、牛毛（うしけ）神社（南区元鳴尾町）で使用された祭礼用具を展示します。

#### 12月10日から1月26日まで　正月の遊び

　すごろくや羽子板、名古屋風の凧（たこ）など正月の遊び道具を展示します。

#### 1月29日から3月22日まで　馬の塔の飾り

　尾張地方で盛んな祭礼のひとつに、飾り立てた馬を寺社へ奉納する「馬の塔」があります。馬を飾った馬道具を、そのデザインに注目して紹介します。

## 話題のコーナー

#### 1月29日から3月22日まで　河口部の漁

名古屋や海部（あま）地方の南に広がる海は、大小さまざまな河川が流れ込み、干潟が広がり、汽水域の魚介が生息していました。2月2日の世界湿地の日を記念して、昭和30年代まで行われた漁のうち河口部で行われた漁を紹介します。

## イベント・セミナー

　※参加にあたり、障害等により特別な配慮が必要なかたは、事前申し込みの事業は申し込み時に、当日参加の事業は2週間前までに博物館にご相談ください。

### 歴史体験セミナー

２と３の応募は、往復はがき・名古屋市電子申請サービスのいずれかにてご応募ください。1通2名まで。参加者氏名・年齢・希望日時・住所・電話番号記載。詳しくは、博物館公式サイトをご覧になるか、お問い合わせください。

#### １．むかしのおもちゃで遊ぼう！

7月17日（水曜）から9月1日（日曜）まで

開館日の9時30分から16時30分まで

会場：2階ロビー

参加費：無料

#### ２．自分だけのまが玉づくり

8月24日（土曜）25日（日曜）　各日2回

1回目：10時から11時30分まで

2回目：13時30分から15時まで

定員：各回50人（小学校3年生以下は要保護者同伴）

参加費：1人400円

要事前申し込み　申し込み期間：7月1日から7月19日まで（必着）

#### ３．おいしく作ろう　おこしもん

2月22日（土曜）　2回

1回目：10時から11時まで

　2回目：11時30分から12時30分まで

定員：各回60人（小学校3年生以下は要保護者同伴）

参加費：1人400円

要事前申し込み　申し込み期間：1月6日から1月29日まで（必着）

### 各種イベント

　当館（とうかん）にて開催する様々なイベント

#### １．ワークショップまつり

　博物館ボランティアによるワークショップまつり

7月27日（土曜）・28日（日曜）

　要常設展観覧料。

#### ２．はくぶつかん古書市

12月7日（土曜）から12月15日（日曜）まで

#### ３．考古学セミナー

12月7日（土曜）・8日（日曜）

愛知県埋蔵文化財センターと共催

聴講無料

　愛知県及び近隣の考古学の活動発表会です。最新考古学情報を紹介します。

### はくぶつかん講座

　当館（とうかん）学芸員・調査研究員が講師をつとめる講座です。10時30分開講（10時開場）。各回当日先着100名。

#### 第1回：6月1日（土曜）　中近世の石造物

#### 第2回：8月10日（土曜）　有松・鳴海絞りアフリカへ行く

#### 第3回：9月7日（土曜）　源氏物語絵巻　桐壷

#### 第4回：11月2日（土曜）　大口周魚とその周辺

#### 第5回：11月30日（土曜）　石槍をつくる

#### 第6回：1月11日（土曜）　秀吉の朝鮮出兵（文禄（ぶんろく）の役（えき））と尾張

#### 第7回：2月8日（土曜）　潟（かた）の文化

#### 第8回：2月29日（土曜）　有松絞と浮世絵

# 平成31年度の名古屋市蓬左（ほうさ）文庫

#### 4月14日から6月2日まで　ご即位記念　企画展　雅（みやび）を伝える　宮廷と文化

　5月に行われるご即位を記念し、宮廷で育まれてきた文化の諸相を、書跡や絵画作品・調度品・染織品などを通して紹介します。

#### 6月8日から7月21日まで　企画展　裂（きれ）の美

　尾張徳川家の裂地（きれじ）コレクションから、茶人たちに重宝されてきた金襴（きんらん）や緞子（どんす）・更紗（さらさ）といった様々な裂地（きれじ）を紹介します。

#### 7月27日から9月8日まで　夏期特別展　合戦図　もののふたちの勇姿を描く

　中世合戦絵巻から江戸時代の合戦図屏風まで、歴史の中で幾度となく繰り返された戦（いくさ）を描いた合戦図の系譜をたどります。

#### 9月15日から11月10日まで　秋季特別展　殿さまとやきもの　尾張徳川家の名品

　将軍家に次ぐ格式を誇った尾張徳川家当主の公私さまざまな場面を飾ってきた陶磁器から、選（よ）りすぐりの作品を紹介します。

#### 11月16日から12月15日まで　企画展　奏でる　楽器と調べ（前期）

　尾張徳川家に伝わる楽器や音楽にまつわる作品から、日本の古典音楽の流れを紹介します。

#### 12月16日から1月3日まで　特別整理・年末年始休館

#### 1月4日から1月31日まで　企画展　奏でる　楽器と調べ（後期）

#### 2月8日から4月5日まで　企画展　いつだってKawaii（かわいい）大好き

　雛まつりにちなみ、着せ替え人形や抱き人形、雛道具や動物・物語など、女子の心を魅了するかわいい品々を紹介します。

# 平成31年度の名古屋市秀吉（ひでよし）清正記念館

#### 2月19日から4月21日まで　パネル展　秀吉（ひでよし）と城

　秀吉（ひでよし）は生涯で多くの城や館（やかた）、寺や神社を築きました。大半は江戸時代に破壊されましたが、近年いくつかが発掘され、壮大な建築プランが明らかになっています。その成果を紹介します。

#### 4月27日から7月15日まで　パネル展　秀吉（ひでよし）と城2

　秀吉（ひでよし）は生涯で多くの城や館（やかた）、寺や神社を築きました。大半は江戸時代に破壊されましたが、近年いくつかが発掘され、壮大な建築プランが明らかになっています。その成果を紹介します。

#### 6月29日から7月5日まで　館内点検のため休館

#### 7月20日から9月23日まで　特集展示　平成と城

　江戸時代の城郭の大半は、明治維新後無用の物として破却され、敷地は陸軍省に管理されました。廃城を免れた数少ない城も、各地方の中心に位置したがため、第二次世界大戦の空襲で壊滅的な被害を受けました。一方、戦国期の城の大半は江戸初期には失われていましたが、険しい山中の城などはそのまま放置され、逆に今もなお遺構を残しています。この展示では、城が明治維新から平成までの時代にどのように認識され受容されてきたか、その変化を考察します。

#### 10月12日から12月15日まで　特別陳列　秀吉（ひでよし）清正記念館　秘蔵の逸品

　名古屋市秀吉（ひでよし）清正記念館は、秀吉（ひでよし）・清正の生誕地である中村公園に設置され、二武将を記念する日本で唯一の博物館として多くの資料を所蔵しています。今回は、今まで展示する機会があまりなかった資料を一堂に公開します。お楽しみに！

#### 12月25日から2月24日まで　パネル展　関東諸将

　秀吉（ひでよし）の前半生（ぜんはんせい）は、信長に引き続き京都以西（いせい）を攻略することに費やされました。天正18年（1590年）小田原城の北条氏を滅ぼすと一気に奥羽も平定し、天下統一を果たしました。本展では、関東諸武将との攻防をたどります。

#### 2月26日から4月26日まで　パネル展　武将と治水

　秀吉（ひでよし）の高松城水攻め、清正の肥後治水など、戦国の武将は治水土木に長（た）けていました。水を制することが国を征することでした。今回は水に焦点を当てて戦国の城をまわります。

# 利用案内

## 名古屋市博物館

〒467-0806　名古屋市瑞穂区瑞穂通（みずほどおり）1-27-1

電話：052-853-2655

ファックス：052-853-3636

開館時間：9時30分から17時まで（入場は16時30分まで）

休館日：毎週月曜日（祝日にあたるときは、その直後の平日、8月13日（火曜）は臨時開館）、毎月第4火曜日、館内点検休館日（9月9日から17日まで）、年末年始休館（12月29日から1月3日まで）。

観覧料：常設展は一般300円、高大生200円、中学生以下無料。

　　　　30名以上の団体料金は、一般250円、高大生150円。

　　　　市内在住の65歳以上の方は100円。要敬老手帳等。

　　　　特別展・企画展は、その都度定めます。

（交通）お出かけは公共交通機関で。

地下鉄桜通線「桜山」下車、4番出口から南へ徒歩5分。

金山バスターミナルから、市バス金山14系統（桜山経由）「博物館」下車。

駐車場（70台収容）普通車（ふつうしゃ）：1回300円

大型バス：1回1,200円

最新情報は博物館の公式サイトで。　http://www.museum.city.nagoya.jp/

## 名古屋市蓬左（ほうさ）文庫

〒461-0023　名古屋市東区（ひがしく）徳川町1001

電話：052-935-2173

ファックス：052-935-2174

開館時間：10時から17時まで（入室は16時30分まで）

休館日：毎週月曜日（祝日にあたるときは、その直後の平日、8月13日（火曜）は臨時開館（ただし閲覧室は休室））、毎月第4火曜日、特別整理・年末年始休館（12月16日から1月3日まで）。

観覧料：一般1,400円、高大生700円、小中生500円。

　　　　※徳川美術館と共通。

（交通）

名古屋駅、栄より：市バス（基幹バス2号系統）・名鉄バス「徳川園新出来」下車、徒歩3分。

大曽根より：JR中央線「大曽根」下車、南出口より徒歩10分。

## 名古屋市秀吉（ひでよし）清正記念館

〒453-0053　名古屋市中村区中村町字茶ノ木25（中村公園文化プラザ2階）

電話：052-411-0035

ファックス：052-411-9987

開館時間：9時30分から17時まで

観覧料：無料

休館日：毎週月曜日（祝日にあたるときは、その直後の平日）、毎月第4火曜日、館内点検（6月29日から7月5日まで）、年末年始（12月29日から1月3日まで）。

（交通）

地下鉄東山線「中村公園」下車、3番出口から北へ徒歩10分。

# 名古屋市博物館

　名古屋市博物館は1977年（昭和52年）に開館した歴史系の総合博物館です。わたしたちの祖先が残した考古・美術・歴史・民俗に関する資料を集め、保管・保存し、公開しています。

## 1階

### 特別展示室・部門展示室

　特別・部門展示室では、尾張地方の歴史・文化の特色を明らかにする企画展や内外のすぐれた文化遺産を紹介する特別展を開催。

### オーギュスト・ロダン作「考える人」

　「考える人」の像の前で記念撮影ができます。

### ミュージアムショップ

　オリジナルグッズ、歴史書などを販売。

## 2階

### 常設展「尾張の歴史」

　2階展示室では、常設展「尾張の歴史」を開催。原始から続くこの地方の歴史を16のテーマに分けて紹介しています。テーマ10「近世尾張の文化」、テーマ16「まつり」は定期的に展示替えをおこないます。この他に小規模な企画展示をおこなう「フリールーム」などがあります。その他のテーマでも随時展示替えをおこなっています。

※　ボランティアによる解説をおこなっています。お気軽に声をおかけください。

#### テーマ1：狩猟・採集の時代

#### テーマ2：稲作のはじまった頃

#### テーマ3：古墳とその時代

#### テーマ4：古代の尾張

#### テーマ5：窯業

#### テーマ6：中世の尾張

#### テーマ7：尾張の統一と信長・秀吉（ひでよし）

#### テーマ8：尾張藩の成立

#### テーマ9：城下町の人々

#### テーマ10：近世尾張の文化

#### テーマ11：幕末維新の尾張

#### テーマ12：名古屋市の成立と近代産業

#### テーマ13：近代のくらしと文化

#### テーマ14：戦争と市民

#### テーマ15：なりわい

#### テーマ16：まつり

## 3階

### ギャラリー

　市民の作品発表の場として多くの展覧会が開催されます。

## 喫茶コーナー：カフェ・サルターレ

　コーヒーと軽食をご用意しています。営業時間は10時から16時30分まで。無料休憩所（きゅうけいじょ）も併設。博物館の建物を出て左にあります。

# 「友の会」会員募集中！

入場割引：企画展・常設展は無料。特別展は当日券の半額。

特典：会員限定見学会・広報モニター会招待・カフェドリンク割引・博物館事業情報郵送など。

年会費：正会員（せいかいいん）3,000円

　家族会員2,000円

お問い合わせ：名古屋市博物館 友の会事務局（052-853-2655）まで。